

## 健康・安全への取り組み

- 「健康と安全」は企業活動の重要な基盤です。
- あらゆる側面から健康と安全第一を推進しています。

### ● 健康・安全についての考え方

東京エレクトロングループは企業の社会的責任の一つとして、社員やお客さまをはじめ、企業活動にかかわるすべての人が安全に働き、安全に製品を使用し、そして健康であることが重要と考えます。

2011年度も、従来から行っている国内、海外のお客さまの工場での安全巡視活動内容をさらに拡充させました。特に新しく建設されたお客さまの工場においては、当社グループ装置納入の前に、安全業務担当者がお客さまとともに安全設備の設置状況や作業環境の安全性について、専用のチェックシートを用いて確認をしています。

例えば当社グループの製品を設置するクリーンルームは、用力※1などの接続の関係で床部分を開口する工事が伴うため、つまずきや転落などが発生するリスクがあります。そのようなリスクを認識するための意識の向上と、作業現場でのバリケード設置方法などの作業手順を作業者が確実に実行するよう、各事業所において継続的にトレーナー養成教育を実施しています。これは当社クリーンルームにおいて、実際の作業状況を再現しながら作業手順や危険な状況への対処法を学習するものです。このような現場での作業を想定した安全教育や実技訓練は、各国・各地で行われています。



クリーンルームでの実技訓練

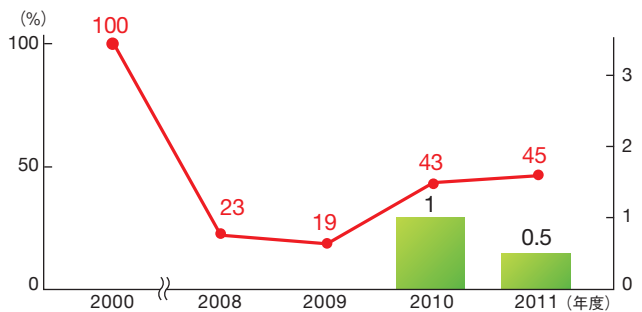
※1 用力：製品を製造するために必要な電力、排気、冷却水、純水などを言う。

### ● 人身事故※2の未然防止

2011年度の人身事故件数は、2010年度とほぼ同水準でしたが、重度の人身傷害になりうる事故の撲滅を重点目標に掲げて活動を展開した結果として、重度の人身傷害になりうる事故は、2010年度からの半減を達成することができました。これは、装置搬入前のクリーンルームの避難経路、非常口の確認、薬液などの被液に対する緊急時のシャワーなどの安全設備の設置状況の確認、現場でのKY(危険予知)活動、安全巡視活動、また事故事例を使った教育などの未然防止策を継続して実施してきた成果です。2012年度に50期を迎えた当社グループでは、安全のスローガンである「Safety First」の原点に立ち返り、あらためて安全文化の醸成とともに、人身事故・災害の撲滅に全社一丸となり取り組んでいきます。

※2 人身事故：当社グループで規定した人に係る事故。米国OSHA (Occupational Safety and Health Administration)のガイドラインに準じる。

### ■ 人身事故発生率の推移



■ 重度の人身傷害になりうる事故※3発生率 (2010年度を1とする)  
● 当社グループの人身事故発生率 (2000年度を100とする)

※3 重度の人身傷害になりうる事故：一歩間違えば後遺症の残る事故になりうる人身事故。

### ● 当社グループの安全教育

2000年7月よりグループ全体で安全についてのコンセプトを共有し、安全教育を進めています。当社グループで働くすべての人を対象に、独自に作成したテキストを利用して基礎安全教育を行っています。クリーンルーム

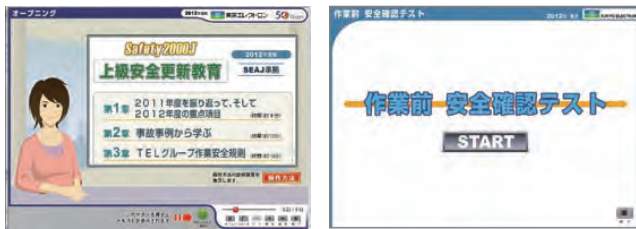
## TOPICS

### 安全作業約束カードの海外への展開

「安全作業約束カード」は、事故を防止するために、過去に発生した事故の原因を反映し安全に作業を行うためのポイントをまとめたものです。作業開始前に確認し、現場での事故防止に役立っています。日本語だけでなく、英語、ハングル語、中国語版を作成し、当社グループの海外法人で活用しており、「携帯に便利で使いやすい」などの声が寄せられています。



内で技術作業を行う者には、一般社団法人日本半導体製造装置協会 (SEAJ) のガイドラインに準拠した教育を行っています。また、安全意識と知識維持のための、更新教育を実施しています。2011年度の「上級安全更新教育」は2010年度の当社グループの安全実績を鑑みて、電気作業の危険性や重量物、化学薬品の取り扱いなどの項目を取り上げました。この教育は、イントラネットを利用するほか、CDを使用しても受講可能で、約7,700名が受講しました。また、お客さま訪問前にお客さまのルール確認・徹底のための「作業前安全確認テスト」の実施を継続的に行っています。



イントラネットを利用した更新教育と作業前確認テスト

## ● MoveSMART<sup>※4</sup> の導入

欧米では、腰痛で代表される筋骨格系障害防止として「MoveSmart」によるエルゴノミクス<sup>※5</sup> 事故対策教育を実施しています。MoveSMARTとは、米国のStrategic Safety Associateが提供する格闘技、人間工学、運動科学、産業心理学、および実際の作業の経験を取り入れた広範囲にわたる安全教育プログラムです。これは、無理な体勢により身体に緊張感を与えた結果生じる腰痛などを防止することが目的の教育で、当社グループの欧米の拠点では、専属トレーナーを育成し、各オフィスに配備して、教育を展開しています。



MoveSMARTの実習

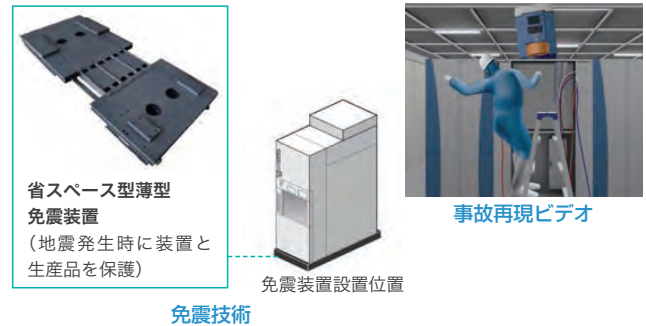
## ● 台湾にてEHSセミナーを開催

2012年2月23日に、東京エレクトロン台湾が主催し、半導体メーカーとFPDメーカーのお客さまを招待して、当社グループの環境、安全の取り組みを紹介するセミナーを開催しました。

環境や省エネルギーに対する当社グループ事業所の取り組みや、環境に配慮した装置開発・技術を紹介し、安全に関しては、事故削減活動や工場および装置の地震対策を説明しました。また、セミナーの最後には、安全教育用の事故再現ビデオの上映も行いました。当日は、台湾を代表する半導体・FPDメーカーから約50名に参加いただきました。台湾は日本と同じく地震大国であることから、地震対策、特に装置の免震技術に対しては多くの質問が寄せられました。また、事故再現ビデオには、業界全体として活用できるようなものも作成してほしいとの要望をいただきました。



台湾でのEHSセミナー



※4 MoveSMART は米国 Strategic Safety Associateの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

※5 エルゴノミクス：人間の身体的・精神的機能や性質を研究し、それに合わせた機械や環境を設計し、開発する学問や考え方。

## TOPICS

### 事事故例動画集の提供

主にクリーンルーム内で発生した近年の事事故例を、「事事故例動画集」DVDとして当社グループで制作し、SEAJに提供しました。この動画では、高所、床開口部、重量物運搬作業など半導体製造装置の立ち上げ・メンテナンスの作業環境で発生した事事故例を、事故の再現、原因の振り返り、事故防止のポイントの観点から、作業者の視点で解説しています。業界全体で、類似事故の未然防止、危険予知活動、安全教育の補助教材として安全管理活動に役立てていただくことが目的です。

